

# 大草小学校だより

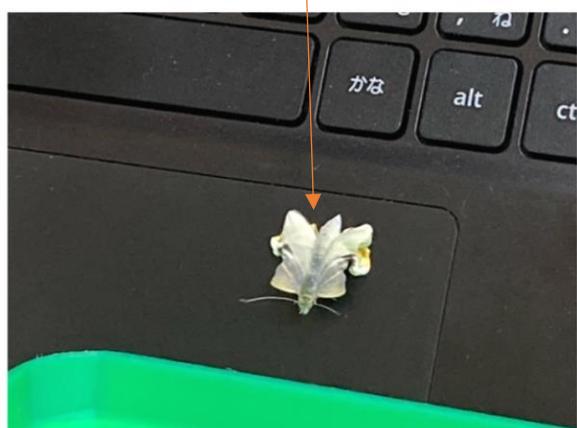
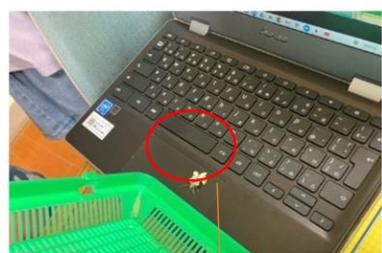
第5号

令和5年5月31日

校長 山口 隆

## 小さな命の輝きを

左の写真はタブレットのキーボード部分です。  
真ん中の下あたりに何かあるのがわかりますか？  
近くに寄ってみましょう。



これでもわからないかもしれませんね。じつは、さなぎから出てきたばかりのモンシロチョウなのです。3, 4年担任の先生が大慌てで職員室に呼びに来たので、居合わせた先生方で駆けつけました。まだ羽はしわくちゃで、動きも弱々しいものでした。子供たちに見守られながら、チョウは少しずつ虫かごのふたに移動して登っていきました。



ゆっくり羽を広げたりとじたりすることで、羽を乾かしたのでしょうか。5分もすると、ずいぶん羽がまっすぐに伸びてきました。この間、子どもたちは目をそらすことなく動きを追い続け、少し変化があるたびに、「おお〜!」「すごい!」などと歓声をあげていました。

高学年でもメダカの卵を顕微鏡で見る学習などをしています。このように小さな命が精一杯輝こうとしている姿に、感動の声をあげることができる子どもたちを、本当にうれしく思います。これからも、命の尊さを様々な場面で感じることができるよう、学びの場を仕組んでいきたいと思えます。

ところで、4年生の国語科に「花を見つける手がかり」という説明文があります。モンシロチョウが何を手がかりに花を見つけ出しているのかを、様々な実験を通して解明していくお話です。その結論から生まれた私の新たな疑問があります。モンシロチョウが卵を

産みに来る際に「なぜキャベツを見つけることができるのだろう」という疑問です。タブレットのキーボードからなぜ、ふたに移動したのか。キャベツと同じような色をしているふたに登ったのは偶然なのか、などは深まるばかりです。